

とうきょう すくすくプログラム活動報告書

園名	板橋区 落合幼稚園
対象	4 歳児
実施期間	5月～7月、10月、1月
年間テーマ	香り豊かなハーブを使って活動する

1. 活動テーマ

<テーマ>

ハーブ指導は、心の安らぎとゆとり、五感教育を目的に行う。

- ① 感覚教育…感覚は2～7歳が最もよく発達すると言われている。
 - ・視覚教育…綺麗な花・草を見たり、クラフトを作ったり、植物の観察をする。
 - ・触覚教育…ハーブの葉、花、実、土に触って、色々な手の感触を覚える。
 - ・嗅覚教育…香りを嗅ぎ分ける。香りは直接の脳への刺激になり、第二の脳と言われている。
 - ・味覚教育…繊細な味を味わっていく。
 - ・聴覚教育…製作活動中にクラシック等の音楽を流し、音響療法も取り入れていく。
- ② 情操教育…感じる心、感動する心、想像力を養っていく。
- ③ 自然と触れ合う…ハーブを育てることにより、季節や植物の生命を感じていく。
- ④ 文化教育…歴史、生物、地理、芸術的要素を取り入れていく。

<テーマ設定の理由>＊子どもの姿

園庭でのびのびと遊ぶ中で様々な草花に興味をもつ姿が見られる。園庭にあるハーブの香りや名前を覚えている子どもは多い。日常で食べているものの中にもハーブが入っているものがあることにも気づき、意欲的に活動に取り組めると感じたため。

2. 活動スケジュール

- 5月 ハーブとは何かの話、園庭散策、サシェ、お茶会
- 6月 サシェ作り、お茶会
- 7月 アロマの虫除けスプレー作り、お茶会
- 10月 ハーブのフラワーアレンジメント、お茶会
- 1月 モイストポップ作り、お茶会

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

＊活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

- ・年間を通して活動を行う部屋はアロマオイルを使用して香りづけをしたり、BGMを使用したりしてリラックス出来る環境にしている。
- ・園庭遊びをした際には、ハーブの場所や名前をクイズで出し、子どもの記憶に残るようにしている。
- ・ハーブの種類はどのような物があるのか、日常の会話の中で話をし、考えるきっかけを設けるようにする。

【準備物】

- 5月…フレッシュハーブ（アップルミント、レモンバウム、レモンバーベナ、レモングラス、ローズマリー）、乾燥用ネット、ハーブの掲示物
- 6月…ドライハーブ（5月に乾燥させた物）、サシェ袋、綿、毛糸、アロマオイル、ムエット
- 7月…スプレーボトル、アルコール、ビーカー、スポイト、アロマオイル、ムエット
- 10月…オアシス、花、アップルミント、ローズマリー、ハロウィン柄のシールを貼ったつまようじ、猫じゃらし
- 1月…銀のお皿、粗塩、花、石、貝殻、木の実、花びら（ドライ）、アロマオイル、ムエット
- ・お茶会用のフレッシュハーブも毎回朝採取している。

4. 研究活動の実践

<活動の内容>

5月 ハーブのお話

- ・物語に出てくるハーブ（ピーターラビット、白雪姫）
- ・ハーブで何が出来ているか見る（石鹸、ポプリ、オーナメント、虫よけ、香水）

園庭散策

- ・幼稚園のお庭にはどんなハーブがあるか見る

サシェ

- ・来月に向けてドライハーブ作り

お茶会（園庭にあるハーブを使って）

- ・アップルミントの葉っぱが乗ったクッキーを食べる
- ・ハーブティ（アップルミント、レモンバウム、レモンバーベナ、レモングラス）

6月 サシェ作り（ハーブの香りを身近に）

- ・前回採取したドライハーブ、アロマオイルをコットンに包んで袋に入れる。
- お茶会（ピーターラビットが飲んだお茶ってどんなお茶か知る）
- ・カモマイル&ハニーミルクのお茶、5月と同じハーブティ
 - ・ベリーの手作りジャムをクラッカーに乗せて食べる

7月 アロマの虫除けスプレー作り

- ・虫除け効果の高いアロマオイルを使って虫除けスプレーを作る
- お茶会
- ・ハイビスカス&ローズヒップ&はちみつのかん水、5月と同じハーブティ
 - ・ローズヒップとベリーの手作りジャムをクラッカーに乗せて食べる

10月 ハーブのフラワーアレンジメント

- ・ハーブを使ってハロウィンのアレンジメントを作る
- お茶会
- ・チャイティ、5月と同じハーブティ

1月 モイストポプリ作り

- ・自分で好きな香りを選んでモイストポプリを作り、その上に海や山、お花畑、ケーキ、遊園地など自分なりにイメージして、貝殻や小石、ドライフラワーでアレンジする

お茶会

- ・ラベンダー&ほうじ茶、5月と同じハーブティ
- ・りんごのソテー・シナモン入り

<活動の中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿	写真
5月 園庭にはレモンバウム、アップルミント、レモングラス、ローズマリーなどがあり、子どもたちは年少組の頃から何気なくハーブに触れていました。ハーブの嗅ぎ方を実践しながら教えてもらったことで、より香りを楽しむことが出来ました。子どもたちの中でもどのハーブの香りが好きかを話す姿がありました。香りの良いフレッシュハーブティは、初回は慣れずにいる子どももいましたが、美味しいと何度もおかわりをする姿がありました。	

6月

前回自分で選んだハーブを摘み、ネットに入れて1か月乾燥させました。取り出したらパリパリになったと言って葉の変化に驚いていました。紐結びにも挑戦し、自分で頑張ってサシェを作りました。

カモマイルのお茶は、ピーターラビットはこれを飲んだの？と言いながら飲んでいました。



7月

いつもとは異なる香りに興味をもっていました。子どもたちはレモングラスの香りが特に好きなのでした。

お茶は甘酸っぱい味が気に入りおかわりをたくさんしていました。お肌に良いと言う話を聞いて子どもたちは自分のお肌を撫でている姿も見られました。

お部屋でスプレーをして良い香りや虫が来なくなるといいなと言う姿がありました。



10月

年長さんが5月にタッジーマッジーを作っているのを見ているため、フラワーアレンジメントが出来ると知り、喜んでいました。オアシスにお花を挿すときには短く持って刺さないと茎が折れてしまうことを経験し、慎重に挿していました。自分で考えて伸び伸びと取り組み、保護者の方に



完成品を見せ、説明する姿がありました。チャイは不思議な味がしたようでしたが、大人の味がすると言いながら飲んでいました。毎回飲んでいるフレッシュハーブティが皆だんだん好きになってきたようで、前回よりも飲めるようになった子どもが増えました。



1月

毎年作品展で年中組はモイストポプリを出展しているため、完成のイメージはもちやすかったようです。好きな香りのお塩に花びらを入れて混ぜる活動では、良い香りがすると言っていました。貝殻やお花を組み合わせて、テーマに合わせて装飾することを楽しんでいました。

毎回と言って良いほど香りを嗅いでいたラベンダーの香りがするお茶に皆癒されていました。



5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

自然豊かな園庭で毎日過ごしているため、植物に対する興味や関心はとても高いと感じていた。年中になってから園庭にあるハーブの話をし、写真を見せたりすることで、5月のハーブ指導がある時にはたくさん名前を知っていた。プランターで育てているハーブの名前も伝えていくことで様々な種類のハーブがあることを知り、道端にある葉もハーブなのではないかという会話も保護者の方から聞くことが増えた。保育していく中でも繊細な音や香りを感じとりながら、これは何なのか、どういう音、香りなのか、それが自分にとっては心地良いのか、苦手とを感じるのかを知っていく姿も見られた。また、自分が良いと感じた物が友達にとっては苦手であることも知る経験にも繋がった。

とうきょう すくすくプログラム活動報告書

園名	板橋区 落合幼稚園
対象	5歳児
実施期間	5月～7月、1月、3月
年間テーマ	香り豊かなハーブを使って活動する

1. 活動テーマ

<テーマ>

ハーブ指導は、心の安らぎとゆとり、五感教育を目的に行う。

① 感覚教育…感覚は2～7歳が最もよく発達すると言われている。

- ・視覚教育…綺麗な花・草を見たり、クラフトを作ったり、植物の観察をする。

- ・触覚教育…ハーブの葉、花、実、土に触って、色々な手の感触を覚える。

- ・嗅覚教育…香りを嗅ぎ分ける。香りは直接の脳への刺激になり、第二の脳と言われている。

- ・味覚教育…繊細な味を味わっていく。

- ・聴覚教育…製作活動中にクラシック等の音楽を流し、音響療法も取り入れていく。

② 情操教育…感じる心、感動する心、想像力を養っていく。

③ 自然と触れ合う…ハーブを育てることにより、季節や植物の生命を感じていく。

④ 文化教育…歴史、生物、地理、芸術的要素を取り入れていく。

<テーマ設定の理由>＊子どもの姿

年中の頃から年長の活動に憧れがあり、早く取り組みたいと意欲的な姿が見られる。また、参観があるため、様々なハーブを積極的に覚えて、保護者に教えてあげたいという気持ちもあるように感じる。

2. 活動スケジュール

5月 タッジーマッジー（ハーブの花束）、アップルミント挿し木、お茶会

6月 参観
（ハーブとは、ハーブ図鑑作り、ハーブレシピ作り、お茶会）

7月 ハーブ図鑑作り完成、お茶会

1月 香りのリース作り、お茶会

3月 、ハーブソルト作り、お茶会

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

＊活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

- ・年間を通して活動を行う部屋はアロマオイルを使用して香りづけをしたり、BGMを使用したりしてリラックス出来る環境にしている。
- ・園庭にあるハーブを摘んで自分の手作りのプランター（ペットボトル）に挿し木をしたり、園庭のハーブを摘んでオリジナルのハーブティを昼食時に飲んだりした。

【準備物】

5月…フレッシュハーブ（アップルミント、レモンバウム）花、麻紐、母の日のメッセージカード、ハーブの掲示物、土、水コケ、プランター

6月…図鑑に使用するハーブ、図鑑の台紙、ハーブティのレシピの用紙、ティーポット（小13個）、参観用園庭のハーブネームプレート

7月…図鑑に使用する押し花、図鑑の台紙、ボンド、ラミネート、シート

1月…リース土台、名札、グルーガン（4つ）、ボンド、木の実、花、ハーブ、リボン

3月…塩、乳鉢、乳棒、ティーポット、エプロン、三角巾、マスク

・お茶会用のフレッシュハーブも採取している。（子どもと準備）

4. 研究活動の実践

＜活動の内容＞

5月 タッジーマッジー（ハーブの花束）作り

- ・中世、魔除け、病気除けとして作られたハーブの花束。
色々なハーブを使ってオリジナルのタッジーマッジーを作り、
母の日にプレゼントをする。

お茶会（園庭にあるハーブを使って）

- ・アップルミントの葉っぱが乗ったクッキーを食べる
- ・ハーブティ（アップルミント、レモンバウム、レモンバーベナ、レモングラス）

6月 ハーブって何？ハーブ図鑑作り①

- ・園庭のハーブを探して押し花・葉を作ります。
ハーブティ レシピ作り
- ・どんなハーブをどれだけ入れたらおいしいハーブが出来るのか
考え、オリジナルのレシピを作ってみる

お茶会

- ・みんなが考えたレシピのハーブティを飲み比べてみる
- ・記憶力アップ ローズマリークッキー

7月 ハーブ図鑑作り②

- ・前回作ったハーブの押し花を台紙に貼り、仕上げる
お茶会
- ・ハイビスカス&ローズヒップ&はちみつの冷たくて甘酸っぱい
お茶
- ・ローズヒップとベリーの手作りジャムをクラッカーに乗せて食
べる。

1月 香りのリース作り

- ・色々なハーブやドライフラワーを使って、香るリースを作る
お茶会
- ・ラベンダー&ほうじ茶
- ・りんごのソテー・シナモン入り

3月 ハーブでお茶会（お別れ会）

- ・ハーブソルト作り
幼稚園にあるローズマリーと塩を乳鉢で擦ってハーブソルトを作り
出来たハーブソルトをフライドポテトにかける
- ・ケーキ作り
おからから作る簡単なケーキを作ります。
- ・ハーブティ
 - ・アップルミント&レモングラス&レモンバーム&レモンバーベナ
のフレッシュティ
 - ・チャイティ
 - ・ほうじ茶&ラベンダーティ

＜活動の中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの姿	写真
5月 昨年見ていたタッジーマッジーを母の日に プレゼントするということを以前から楽し みにしていました。花束を作るのは初めて だったので、束ねていくことが難しかった ようですが、心を込めて素敵な花束が出来 ました。カードも添えてプレゼントし、子 どもたちは達成感でいっぱいでした。	

6月

参観のため、見に来てくれた保護者の方にハーブの名前や、香りの嗅ぎ方を得意げに教えてあげる姿が多く見られました。園庭の散策でもどのハーブがどこにあるのか案内していました。

保護者の方の中には今回のハーブをきっかけに園庭のハーブをもらってご家庭でも子どもとハーブティを飲むようになったくらい興味をもち、楽しんでいた方もいました。



7月

参観で採取し、電話帳に挟んでいたハーブを自分でボンドを塗りつけました。ボンドも葉っぱや花につけることが初めてだったため、慎重に取り組む姿が見られました。4月、5月の上旬に咲く、マロウやカモマイルの花も事前に摘み、押し花にしておきました。最後にラミネートをして、自分だけのオリジナルの図鑑を完成させました。参観からの活動だったため、保護者の方との会話も弾んでいました。



1月

2月の作品展に出展するため、張り切って作っていました。今回初めて出てきたグルーガンは一度くっつけると取れないため、どこにつけようか考える姿が見られました。木の実や花は自分たちで選んで考えてレイアウトしました。



3月

クッキングが出来ることに大喜びをし、前日から持ち物を確認する姿が見られました。お友達と協力して材料を入れるところでは出来上がりを楽しみにわくわくしていました。

乳鉢に塩とローズマリーを入れて乳鉢ですりつぶす活動はだんだん細かくなっていくローズマリーが不思議だったようです。ローズマリーの香りづけをした油で揚げたポテトはとてもおいしかったようであっという間になりました。

ハーブティも好きなお茶を選べるため、いろいろなお茶を飲んでおかわりをたくさんしていました。



5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

年中で行ったことの確認から年長へのステップアップをすることで、子どもたちが継続して学んでいくことが出来た。講師の話をよく聞き、どのようにするとより良くなるのか、自分なりに考えて行う姿が見られた。また、心を落ち着かせて行う活動の姿勢は、他の活動にも見られた。

ハーブティを自分たちでレシピを作る取り組みでは、何をどの程度入れると自分の好みの味になるのか試すことが出来た。この経験を活かして、気になったことは図鑑で調べたり、観察したりする姿も見られ、探求心がより育まれたように感じた。